

授業改善推進プラン（教科 美術）

作成者 平賀 公章

課 題		指 導 の 手 だ て	
全学年の共通課題 ○ 発想を豊かにし、表現活動を大いに楽しむ。 ○ 効率的な制作を行い、決められた時間内に作品を完成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 下描きやアイディアスケッチをしっかりと行い、完成のイメージがもてるようにする。 ・ 参考作品を提示し、完成までの見通しがもてるようにする。。 ・ 工夫するポイントや効率をあげるための助言を積極的に行っていく。 	
学年毎の課題	学 年	実 態	指 導 の 手 だ て
	1 年	楽しみながら制作に取り組んでいる。制作が雑になることがあり、適宜言葉掛けが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成までの見通しをもって取り組めるように、各工程の説明や完成までのながれをしっかりと説明していく。 ・ できるだけ多くアイディアスケッチを行うことで、完成までのイメージをもちやすくする。 ・ 丁寧な制作ができるよう適宜言葉掛けを行う。
	2 年	よく集中して取り組んでいる。積極的に発想や構想を行うことが苦手な面がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成までの見通しをもって取り組めるように、各工程の説明や完成までのながれをしっかりと説明していく。 ・ 自分で判断し、積極的に工夫できるように、適宜言葉掛けを行う。また、場面によっては自分で発想できるまで待つようにしていく。
	3 年	よく集中して制作に取り組むことができている。自分から発想を進めるのが苦手。もう少し自由に発想や構想を楽しんで欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成までの見通しをもって取り組めるように、各工程の説明や完成までのながれをしっかりと説明していく。 ・ できるだけ多くアイディアスケッチを行うことで、完成までのイメージをもちやすくする。 ・ 参考作品を提示し、作品のイメージをもちやすくする。

23年度 美術科 評価基準

各学年共通

観点別学習状況の評定への総括

観点別	評定
A,A,A,A	4, 5
A,A,A,B	4, (3), (5)
A,A,B,B	3, 4
A,A,A,C	3, 4
A,B,B,B	3, (4)
A,A,B,C	3, (4)
B,B,B,B	3
A,B,B,C	3, (2)
A,A,C,C	3, (2)
B,B,B,C	3, (2)
A,B,C,C	2, 3
B,B,C,C	2, 3
A,C,C,C	2, (3)
B,C,C,C	2, (3), (1)
C,C,C,C	1, 2

観点別学習評価の達成値、評定の達成値の関係

観点別学習状況の評価		評定	
十分満足できる	A	特に高い程度のもの	5
		十分に満足できる	4
おおむね満足できる	B	おおむね満足できる	3
努力を要する	C	努力を要する	2
		一層努力を要する	1

評価

A	B	C
80%以上 100%以下	45%以上 80%以下	0%以上 45%以下

評価規準

美術への関心・意欲・態度

自ら考え、進んで授業の準備ができているか。忘れ物をしていないか。集中力を保ち制作に取り組んでいるか。道具の名称や使い方を理解しているか。
(授業観察、提出物、下書き、作品)

発想や構想の能力

独創的な発想をすることができたか。完成までを見通して、手順良く制作を進めることができたか。下書きを発展させたアイデアが出せたか。
(授業観察、提出物、下書き、作品、定期考査)

創造的な技能

表現意図を工夫し、対象の形などが正確に捉えられているか。道具を正しく、安全に使用できたか。最後まで丁寧に制作できたか。
(授業観察、提出物、作品、定期考査)

鑑賞の能力

作品を制作する為の資料を自ら集め、資料としての参考作品を見て、良いところを取り込んでいるか。友達の作品の良さを発見できたか。作品の歴史的な流れや、その位置づけを理解できたか。
(授業観察、ワークシート、作品、定期考査)